

認知症ケアが上達する薬の知識

高松
会場

薬によってお年寄りがどう変わるかを知らなければ、
これからの高齢者介護はできない！

松山
会場

2018年

日時: 7月10日(火) 10:30~16:00

会場: 高松テルサ (202号)

(香川県高松市屋島西町 2366-1)

☆JR「高松」駅より7番・屋島大橋線バス
「高松テルサ」下車すぐ

2018年

日時: 7月11日(水) 10:30~16:00

会場: 松前総合文化センター

(視聴覚学習室A)

(愛媛県伊予郡松前町筒井 633)

☆伊予鉄道郡中線「松前」駅より徒歩10分

< 認知症介護&医療の全てが分かる1日コース >

【講師】

ひがしだ つとむ

東田 勉



フリーライター。介護・福祉・医療分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。

2014年に刊行された『認知症の「真実」』（講談社現代新書）はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか?』（現代書林）、村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』（SB新書）、近著に『親の介護をする前に読む本』（講談社現代新書）がある。

へ プ ロ グ ラ ム ▽	10:30 ~ 11:30	認知症医療の最前線の動き なぜ認知症はこんなに増えたのか／海外から批判されている日本の認知症対策／症状による4大認知症の見分け方／高齢になるほど増える合併と移行
	11:45 ~ 12:45 (昼食)	抗認知症薬のメリットとデメリット 中核症状とBPSDへの薬の使い分け／抗認知症薬の増量規定／いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用／認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか
	13:45 ~ 14:45	高齢者への薬物療法の極意 第一線の認知症医が導き出した結論／抗認知症薬が認知症を悪化させる／コウノメソッドの画期的な投与方法／リバスチグミンとシロスタゾール／意識障害とせん妄への対応
	15:00 ~ 16:00	介護職は何ができるのか デビルメソッドからお年寄りを救い出せ／声をあげ始めた医師たち／アルツハイマー病の真の問題とは何か／心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合はみ一週間以内にご連絡さし上げます。

【受講料：6,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主催

なるほどケア塾

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榎円窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

お申し込みはこちらへ Fax

Fax : 042-306-3772

<参加人数>

<参加者名>

*施設の場合は施設名もご記入ください。

<住所>〒

(自宅・職場)

<TEL>

<FAX>

7/10(火)高松

()名

7/11(水)松山

()名